

つゝ出掛けた。ところが雨あがりのおかげか土留めの周辺にはこのグループのものがいた。ミスジヒシベニボタルの1♂が落葉上にひっそりと、カタアカホタルモドキ 1ex., オオマドボタル 6exs. がそばの草上にいたし、クシヒゲベニボタル1♂もいた。ネアカヒシベニボタルは13♂, 10♀がいた。1組は交尾していた。全般に葉上, 落葉上にいたし飛翔していたのも数匹いた。上翅の短縮奇型のものが1♂, 2♀いたし, 1♀は上翅色彩が全般に黒味がかって僅かに先端部合線ぞいに赤味を有しているだけであった。6月19, 20日と再び雨, 雨で身動きが出来なかった。21日は曇空, 時々晴間が見られたので出掛けて見た。結構まだたくさん出ていた。9♂, 6♀採集。交尾中のものを2組見た。他のホタル類は少々離れた地点でオオマドボタル 2exs. とベニボタル1♀を採集。

その後若干用事があつたり体調をくずしたり, 雨等々でその場所への訪問の機会に間があいて6月28日久し振りに訪れた。雨で崖くずれとか道路が泥濘化している。ほとんどベニボタル類の姿を見なかった。わずかに1♂のネアカヒシベニボタルとオオマドボタル2exs., クロハナボタル1♀を採集しただけである。

この様にして限られた場所でもその状況がわかると野外ではなかなか得られないものが次から次へと多数現れる。採集, 調査のポイント探しの重要性を痛感させられる。

それ以後の同地点での状況は —

6月30日ネアカヒシベニボタル1♂, 1♀, オバボタル3exs., クロマドボタル 1ex., ベニボタル 1ex., クシヒゲベニボタル1♀を採集。7月1日はネアカヒシベニボタルは全く見なかったが久し振りにミスジヒシベニボタル1♂を見た。7月2日ネアカヒシベニボタル1♂, 1♀が採集出来た。(以上全部の調査時間帯は午前8時30分から9時30分間の1時間前後である)。

筆者が1964年に県下のベニボタルをまとめた時には18種が記録出来ただけであったが現在手許に集っている資料を見ると県下産ベニボタルは36種もある。そろそろ記録の発表をしなくてはならない様である。

(Aug. 1984)

宝塚市内におけるノコギリカメムシの採集記録

新 家 勝

ノコギリカメムシ *Megymenum gracilicorne* Dallsの分布については, 本誌9巻第1号に紹介されているが, 県下の産は余り報告されていないようである。筆者は宝塚市内で本種を採集しているので報告させていただく。

採集年月日 V. 26. 1984

採集場所 宝塚市切畑検見

採集時の状況 採集場所は, 宝塚市北部の田園地帯で, ナンキンノの苗の地際にいたものを採集した。